

2020年度第3回日本包装専士会理事会議事録

2021年3月29日作成
事務局

開催日時：2021年3月19日（金曜日）16：00～

会 場：リモート

出 席：春日、北島、小林（義）、島田（賢）、島田（道）、下村、竹内、中村、中山、
成田、橋本、渡辺、嶋

関西理事出席：今田、平田

欠 席：及川、加藤、小林（浩）、鈴木、高畑、

内 容：

委員会報告

事務局

2020年度

総会：1度目の緊急事態宣言を受けて5月22日（金）から6月23日（火）に開催延期。提出議案（活動の実績と計画、役員選出）は全て賛成多数で可決

理事会：第1回は11月26日（木）開催。本日第3回。全てリモート開催

2021年度

総会：開催候補は5月17日週。開催方法の要検討。開催の準備は始めた。年会費の請求書を送る必要があるので、開催案内は請求書を同封し郵送する予定
→6月11日（金）開催。リモートではなく対面で。会場はこれから当たる。開始時間を決めなかったが、昨年同様15時開始でいかがですか

理事会：コロナ禍前の6月、9月、11月、3月の計4回開催としたい

情報委員会

包装技術原稿掲載

「包装技術」執筆実績と計画				2021年3月19日
	内容案	担当	締切	状況
4月号	関西委員会活動報告	関西委員会	終了	
5月号	包装技術セミナー報告	セミナー委員会	終了	
6月号	ホームページ更新	情報委員会	終了	
7月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
8月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
9月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
10月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
11月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
12月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
1月号	東京パック関連	展示・未来包装委員会	終了	
2月号	東京パック関連	展示・未来包装委員会	終了	
3月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
4月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	終了	
5月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	終了	
6月号	東京パック総括	展示・未来包装委員会	4月末	依頼済
7月号	日本包装専士会の紹介	情報委員会	5月末	
8月号	日本包装専士会理事会の紹介	情報委員会	6月末	

2020年4月号以降の掲載内容は上の通り。直近では6月号で東京パックの総括を掲載する。今後の掲載は、定期的に見直しした「日本包装専士会理事会の紹介」と「日本

包装専士会の紹介」の交互掲載が基本。掲載すべきことがある場合は適宜原稿を差し替える

セミナー委員会

2020年度活動報告

コロナ禍につき、セミナー企画などの実施は控えた

2021年度活動計画

COVID-19の感染状況がよめない中、まだ多くの人数を集めてセミナーを開催する事へのリスクを考えると、2021年度中の対面セミナーは行わない事とする。オンラインセミナーに関してはその実施方法について検討を行っていくが、まずは専士会会員に向けたクローズセミナーを想定しテーマ検討を行うこととする。

展示委員会

下村理事に委員長交代。加藤理事はJ P Iとの交渉、下村委員長は専士会内部を担当として、役割を分担する

未来包装委員会

2021年度活動案

セミナー開催...方法やセミナー委員会と協議

東京パック2021での未来包装研究委員会のアクティビティ紹介

未来包装2030パネルからあるべき姿と期待したい技術等の紹介。並びにコラボセミナーでのエッセンス紹介（※配布資料は著作権の問題を避けるため写真は削除しURLと文字にする）

雑誌等取材／寄稿

包装タイムス取材：分割掲載予定。専士会HPへの掲載許可を確認中

包装技術・日本食品包装協会会報等への寄稿：未来包装研究委員会にて検討中

次回の東京パック（2022年10月）に向けての活動

包装未来2030～ゼロ・エミッション2050に向けてのマイルストーン～(仮称)

「2050年カーボン・ニュートラル×包装ごみゼロ×分散化社会」のような大きなテーマの下、電化(石化→再エネ・水素社会等)、デジタル技術（DX）、感染防止技術(バイオアクティブ)など、産業界の叡智や進化するソリューションのメリットを、どうやってプラ問題(どうやって水平リサイクルを実現するか等)に活用できるか等を継続調査し提言する。

食品保全については、デジタルと結びつける以外の、食品加工・包装技術も追求したいが・・・。

アドバイザー確保（包装業界の大御所へ意見を求めるコネクションを再構築）

国立環境研究所/稲葉陸太氏、マシンガンズ滝沢秀一氏とのコラボ継続

稲葉氏とは包装技術の情報提供や新たな共同調査テーマを持つことにより環境研とのパイプを維持、滝沢氏とは橋本様の個人信頼関係をベースに、環境研や有力リサイクラーとの共同視察などを行い、パイプを維持、2022年10月東京パックでのコラボセミナー再演など、専士会としての活用を狙う。特に、家庭及び事業所からの包装廃棄物の排出のあるべき姿を考えるうえで両者とのコラボは重要。

(稲葉氏はプラリサイクルのLCAを主研究とし、同氏よりメンバー各個社の各工程のCO₂排出値の詳細提供要請があったが、各個社の感触は提供困難であった。2021年度は稲葉氏の研究を他にサポートできることを探し出し、東京パック2021対応だけの単発に終わらせないようにしたい)

活動体制

役割分担(4月1日16:30～委員会で決める予定)

島田賢一	三菱商事パッケージング(株)	委員長代行	
橋本香奈	缶詰技術研究会	副委員長	
小林義浩	味の素(株)		
北島誠之	出光ユニテック(株)		
成田淳一	三井化学東セロ(株)		
中山勉伸	三井化学東セロ(株)		
野田貴治	日本製紙(株)	(2021年3月参加)	
今田克己	今田包装技術企画		
有田俊雄	有田技術士事務所		アドバイザー

ワーキング

月に1回程度、web(Teams)にて打ち合わせ

予想発生費用

滝沢氏を環境研(筑波)やリサイクラー(関東圏)にお連れする等、メンバーの交通費発生の見込み

(2022年度は東京パックでのセミナー等で外部資料や録画等の手配のため費用発生の見込み)

関西委員会

2020年度はCOVID-19の流行のため、4月以降、対面活動を自粛。

理事会は4回開催(リモートと回議)。ミニセミナーは2月に1度開催(リモート)。

次回理事会は4月13日(火)。議題は、活動の実績と計画、役員選出、次期関西委員長選出(平田委員長より、業務多忙のため委員長交代の申し出あり)、包装技術セミナー開催方法

以上